

有馬四郎助 ありま しゅうすけ 典獄。文久四年二月一日薩摩國生れ、昭和九年二月四日歿（二六六―一九三三）。舊姓益滿。明治十一年鹿児島縣立師範學校附屬小學校高等科卒。小學校訓導、巡查、警部補を経て、十九年北海  
道空知集治監看守長、爾來刑務官生活四十數年、豊多摩刑務所所長を  
最後に昭和四年退官。この間小田原幼年保護會を創設して釋放少年の  
保護に當り、また小菅監獄の收容者用月刊紙「窓の光」を創刊。關東  
大震災が同監獄全壊と、有馬典獄を思ふ收容者達は一人も逃走しな  
かつたといふ。

『有馬典獄遺稿集』（東郷彦編、昭和十一年九月五日神奈川・有馬典  
獄遺稿集刊行事務所）刊。

